

若葉ゆめの園通信

No. 036

社会福祉法人 ハッピーネット



ハッピーネットがよくわかる！情報発信中

発行日：2021年3月12日

編集&発行：若葉ゆめの園広報

電話：03-3935-5780

FAX：03-3935-5790

4階三、四丁目

2月3日に節分の豆まきのレクを行いました。ご入居者様皆様、鬼に向けて「鬼は外・福は内」と仰りながら豆を投げて病気やコロナを追い払って頂きました。沢山、豆を投げて頂きました。たくさんの笑顔を見る事が出来良い写真がたくさん撮れました。



1階ショートステイ

感染症対策の為、密にならないように注意を払いながらユニットごとに節分の豆まきを行いました。鬼に扮した職員が登場すると利用者様から大きな歓声がおこりました。大きな声で「鬼は外！福は内！」と叫びながら逃げ惑う鬼に豆をぶつけ、鬼を倒した際は大変盛り上がりました。ご利用者様は童心に戻り笑顔で楽しまれた様子でした。



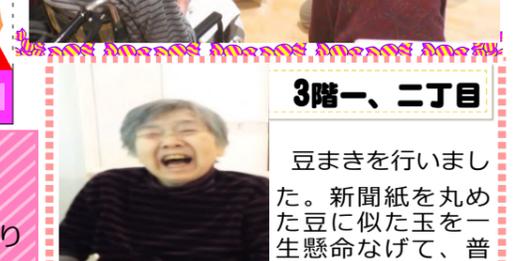
早春の候

早春の候、ご家族様におかれましてはコロナ禍においてもますますご活躍のこと、お喜び申し上げます。緊急事態宣言が明けるかどうか？ワクチン接種がどうなるのか？何かと不便の多い日が続きますが、皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

さて、お寒い中でのご面会に大変申し訳なく感じております。現在のご面会は下記の写真のように施設内でのご面会ができますので今後も何卒よろしく願いいたします。



2階一、二丁目



3階三、四丁目

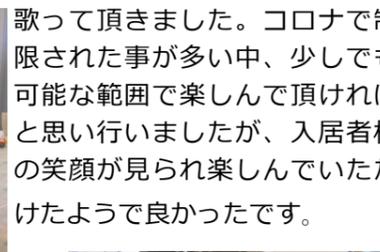
今年、豆まきを行うだけではなく、節分の由来の説明や鬼の面的に新聞で作った豆を投げたいたりゲームを交えて行いました。最後に、職員が鬼に扮装し豆まきを行うと、普段



は表情の硬い入居者様からも笑顔が見られ楽しそうに豆を巻いておりました

4階一、二丁目

2月は節分のレクレーションを皆で行いました、黒ひげ危機一髪のオモチャを鬼に仕立てて皆で鬼を倒し福を呼ぼうと楽しんでいただきました。またピアノ演奏をして、皆で歌を聞いたり歌って頂きました。コロナで制限された事が多い中、少しでも可能な範囲で楽しんで頂ければと思い行いましたが、入居者様の笑顔が見られ楽しんでいただけよう良かったです。



2月駅弁・郷土料理

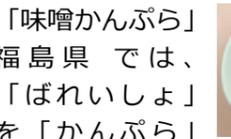


「けんちんそば」茨城県は、朝晩の寒暖差が大きく、

に変化したという説が有力です。じゃがいもを収穫する際に出る、売り物にならない未熟な小さい芋を集めて料理し、味噌と砂糖で甘じょっぱく味付けしています。R長崎



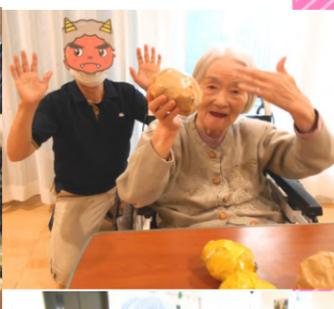
駅で販売されている「角煮めし」です。角煮めしは、卓袱料理で有名な長崎の料亭御宿「坂本屋」が手がけたもので、本格的な味わいの角煮が大きな魅力となっています。フタを取ると、ご飯の上に盛り付けられた角煮が目飛び込んできます。ひと口大に切り分けられた角煮が、これでもか、といった量で盛り付けられていて、肉好きにはたまらないはずで



「ばれいしょ」を「かんぷら」と呼びます。オランダ語の「ばれいしょ（アールダプル）」が「あっぷら」→「かんぷら」

2階三、四丁目

2月も節分、豆まきを行いました。職員が鬼になり入居者様に鬼は外・福は内と新聞紙を丸め、豆まきを鬼に投げました。日々の体操・レク等でみられる表情とは違い、声を出し笑顔で鬼を退治されていました。



3階一、二丁目



豆まきを行いました。新聞紙を丸めた豆に似た玉を一生懸命なげて、普段笑顔が少ないご入居者様が笑顔で参加されておりました。

